

施策1 子育て①

重点目標1

もっと、居心地のよいまちへ

重点目標2

もっと、個性的なまちへ

重点目標3

もっと、創造的なまちへ

【施策の現状と課題】

- 1
- 核家族化や地域のつながりが希薄化になり、家事や育児の援助を十分に受けることができず、不安を持つ妊産婦や子育て家庭が増加していることから、地域全体でこどもや子育て家庭を応援することができる環境づくりが必要です。
 - 柏駅前に「子ども・子育て支援複合施設『TeToTe（てとて）』」を開設し、乳幼児から中高生世代まで、すべてのこども・若者が成長にあわせて利用でき、妊産婦や子育て家庭も利用できる総合的な施設として整備しています。

- 2
- 本市における0～5歳児の人口は、横ばいまたは減少する見込みとなっていますが、女性の就業率が増加する中で、今後一定期間、保育需要は増加すると予測されることから、保育ニーズに適切に対応した保育の量の確保が必要です。
 - 大都市圏を中心に保育士確保が難しい中、保育人材の確保および質の向上を図る必要があります。
 - 配慮や支援を必要とするこどもや医療的ケアを必要とするこどもへの対応が求められており、また、就業形態の多様化によって、保育へのニーズも多様化しています。

- 3
- 本市では、小学生の放課後の居場所として、こどもルームを設置しています。共働き家庭の増加に伴う保育ニーズの増加に対応するため、小学生の安全・安心な放課後の居場所の充実が求められています。
 - 地域の協力等による放課後子ども教室の実施、家庭・地域と連携した家庭教育の支援を展開しており、これらの活動の充実が必要です。

【目指す状態】

子育てを地域全体で支え、こどもが心身ともに健やかに育つ環境をつくれます。

こどもとその保護者が孤独や孤立感、経済的な不安を感じることなく、安心して育ち・育てることのできる環境をつくれます。

【施策の方向性】

1 地域における子育て環境の充実

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、こどもや保護者同士が交流し、仲間をつくったり学び合える環境づくりを進めます。また、市民や事業所等による子育て支援活動を支援します。

子育てに関する情報が、子育て家庭やこどもに関わる人など広く市民に伝わる情報提供体制をつくれます。また、子育てについて相談しやすい体制を充実します。

〈主な取組〉

子育て・親育ちの環境づくり、情報提供・相談支援体制の充実

2 乳幼児期の教育・保育の充実

乳幼児期のこどもが健やかに成長・発達できるよう、教育・保育施設を計画的に整備するとともに、教育・保育の質の確保・向上を図ります。

多様な教育・保育ニーズに対応するため、認定こども園の普及、一時的な預かりや病児保育の充実を図るとともに、障がい児保育や医療的ケア児保育に必要な体制や環境づくりを進めます。

〈主な取組〉

教育・保育施設の計画的な整備、教育・保育の質の確保・向上、多様な教育・保育ニーズへの対応

3 こども・若者の居場所の充実

放課後に安全で安心して活動できる居場所を確保するため、学校の余裕教室の活用や学校施設との複合化等により、こどもルームの整備を進めます。

また、学校運営協議会を中心に、学校と家庭・地域が連携して、児童生徒の成長・発達を支えるとともに、実際の活動へとつながるよう支援します。

〈主な取組〉

こどもルームの整備、放課後子ども教室の充実

施策1 子育て②

重点目標1

もっと、居心地のよいまちへ

重点目標2

もっと、個性的なまちへ

重点目標3

もっと、創造的なまちへ

【施策の現状と課題】

- 本市では、妊娠子育て相談センターにおいて、専門職が相談に応じ、妊娠期からの切れ目ない支援を行っています。こどもや子育て中の保護者が抱える複合的な課題に対し、こどもの成長に合わせて一貫した支援を継続して提供することが必要となっています。
- 貧困状況にあるこどもやヤングケアラー、外国につながるのあるこどもなど、さまざまな困難を抱えるこどもやその家庭について、相談や支援の充実が求められています。

- 児童虐待の相談対応件数は、全国的に増加を続けており、本市においても増加の一途をたっています。現在は、県が設置・運営する柏児童相談所にて対応していますが、自治体間の連携や、児童相談所と市区町村の役割分担等が課題となっています。
- 本市では、令和8年度に「（仮称）柏市こども・若者相談センター」を開設し、市営の児童相談所・一時保護所を設置することで、児童虐待の防止や早期対応、自立まで一貫した支援を一元的に担うこととしています。

- 子育てや教育に関する経済的負担の軽減が求められています。特に、ひとり親家庭では、子育てと生計の維持を一人で担う必要があり、複雑で困難な課題を抱えていることから、生活の安定と向上のための支援が重要です。

【目指す状態】

子育てを地域全体で支え、こどもが心身ともに健やかに育つ環境をつくれます。

こどもとその保護者が孤独や孤立感、経済的な不安を感じることなく、安心して育ち・育てることのできる環境をつくれます。

【施策の方向性】

1 こどもから若者まで切れ目ない支援の展開

妊娠期から子育て期までの配慮や支援が必要なこどもや家庭に対し、様々な状況に応じた切れ目ない相談・支援体制の充実を図ります。

生まれ育った環境に左右されることなく、こどもが健やかに育つよう、貧困の状況にあるこどもや外国につながるのあるこどもへの支援を推進します。

〈主な取組〉

特定妊婦・要支援家庭の早期発見のための仕組みづくり、特定妊婦・要支援家庭への支援の充実

2 児童虐待の防止と早期対応

子育て支援から要保護児童対策まで一貫した支援を展開するため、「（仮称）柏市こども・若者相談センター」を新設します。

支援が必要な家庭のさまざまな養育課題やニーズに対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心とした関係機関の連携強化を図ります。

〈主な取組〉

（仮称）柏市こども・若者相談センターの設置、要保護児童対策地域協議会による連携強化

3 子育て家庭の経済的負担の軽減

幼児教育・保育の無償化をはじめ、医療費の負担軽減のための助成など各種支援制度を実施します。

ひとり親家庭の自立に向け、子育て・生活支援や就業支援など、関係機関等の密接な連携のもと各種支援を展開します。

〈主な取組〉

柏市ひとり親家庭等自立促進計画の推進